

平成29年度 学校評価まとめ

学校名 深谷市立豊里中学校
校長名 高橋明美

1 学校評価のねらい (学校としての受け止め)

- (1) 地域に信頼と支援を受け、生徒が楽しく通う学校をつくるため。
- (2) 評価を通して、学校教育の見直しを行うため。
- (3) 新しい学校像を築くための参考資料とするため。

2 評価の方法 (自己評価・学校関係者評価・第三者の別、回数、方法等)

- 自己評価 (教職員) 2回 アンケートによる
- 学校評価 (生徒・保護者) 1回 アンケートによる
- 学校関係者評価 (学校運営協議会委員) 1回 アンケートによる

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化

①生徒評価

- ・「豊里中に通うのは楽しいですか。」で90.2%が楽しいと答えている。
- ・「授業がわかりやすいですか。」が82.4%、「授業で力がついたと実感できているか。」が80.3%と全体から比較すると満足度が低い。

②保護者評価

- ・学校への評価項目は、全般的に良好である。生徒自身の家庭学習への取組が78.6%、テレビゲームやスマホの約束を守るという項目は63.6%と満足度が低かった。

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

①職員評価

- ・「学校教育目標の具現化」は100%であった。

②生徒評価

- ・「いじめを、しない、させない、ゆるさない」が96.7%であった。

③保護者評価

- ・「規律正しく、思いやりのある生徒を育てている」が95.3%であった。

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

①職員評価

- ・「学習指導」の5項目平均で92.6%から97%になった。

②生徒評価

- ・「進んで授業に取り組んでいたか。」は89.1%であった。

③保護者評価

- ・「子供は家で自主学習をしている。」は78.6%であった。

4 次年度に向けての展望

- 今年度も学校評価については、校内研修で共通理解を図り、学校評価検討部会の基本的考え方を今年度の校務分掌を基本として、運営委員が担当部会ごとに分析し、「具体的な改善策」を職員会議等で提案し、来年度の学校運営に生かしていく。
- 保護者へ評価結果をよりスムーズに広報し、さらなる改善・充実に向けて全教職員で取り組む。
- 第3回学校運営協議会の中で、委員への学校評価の説明の後、教職員の自己評価、生徒評価、保護者評価を包括的に協議し、意見をいただいた。それぞれの項目ごとに活発な意見交換ができ、教職員自己評価と生徒評価、生徒評価と保護者評価の比較検討等で来年度に生かしていく。